

# 水辺の楽校

## NEWS

2016 秋 vol. 17

### アキアカネ飛来中！

10月15日、新トンボ池をのぞいたら、アキアカネ8ペアが産卵していました。

トンボ池2号は、開けた場所に設置したので、1号とは、顔ぶれが少し違うようです。楽しみです

### トンボと遊ぼう平塚（10月10日）



馬入水辺の楽校の会では、市民参加による「トンボの棲むまちづくり運動」を展開しています。環境指標生物であるトンボ調査を通じて、市内の自然環境の現況を知り、生物多様性地域戦略の策定に結びつけようという試みです。

この日の調査は子ども達を対象にした催し。あいにくの曇り空で、風も冷たく、トンボはあまりいませんでした。それでも子供たちは元気に草原を走り回り、バッタやカマキリをつかまえていました。ナガコガネグモの巣を観察していた時、ちょうどバッタが巣にかかりました。クモはすぐに走り寄り、するすると糸で巻いていきました。その手際の良さにみんなで感心しました。これから冬を迎え、成虫で冬を越すもの、卵で冬を越すものなど、岸先生の説明を、熱心に聞き入りました。（参加者：13人（子供5人・大人5人、講師1人、スタッフ2人）

みんなで造ったトンボ池  
（8月6日：写真右）



## お魚調べとオニグルミの収穫（10月15日）



毎回、何が採れるか？ ワクワク、ドキドキのお魚調べ。網を持つ手に力が入ります。

今回もウナギやクロホシマンジュウダイ、モクズガニやアリアケモドキなど、たくさんの生き物が捕獲できました。

何事も経験の積み重ねで、子ども達の腕前も向上。識別力もアップしています。

泥に足を取られ、尻餅をつくようなこともなくなり、スタッフとして、安心して見ていただけるようになりました。

捕獲した生物は、大きさや個体数を調べ、馬入川の環境保全に役立てます。

気になると言えば、南方系のお魚が増えていること。地球温暖化によるものでしょうか。

おまけはオニグルミの収穫。高枝剪定ハサミや長い竹を使って、木に生っているクルミを収穫しました。

早くこいこいお正月。みんなでクルミ餅づくりを楽しみます。

参加者：24人（子供10人・大人7人、勝呂講師1、スタッフ7人）



今年もたくさんのオニグルミがなりました。  
根こそぎ取らないで、赤ネズミにも残してくださいね！